



# 学校だより

11月号

平成29年11月 1日

さいたま市立植竹小学校

〒331-0813 さいたま市北区植竹町2-1

TEL 048-663-7627

FAX 048-663-9885

E-mail uetake-e@saitama-city.ed.jp

児童数 1年124名・2年139名・3年122名・4年134名・5年125名・6年137名・7組17名 計798名

学校教育目標

〇すすんでまなぶ子

〇たすけあう子

〇げんきな子

## 埼玉・教育ふれあい賞受賞

～学校はたくさんの人に支えられている～

校長 鯨井 幹夫

校庭の木々も少しずつ色づき始め、本格的な秋の季節を迎えました。この季節は、「芸術の秋」「読書の秋」「運動の秋」「食欲の秋」などとも言われますが、植竹小の子どもたちも自らの体験を通して、身体も心も豊かにたくましく成長していくことを願っています。

さて、過日の学校公開には、たくさんの保護者や地域の方々にご参観いただきました。学校評議員・学校関係者評価委員の皆さんを含め、総勢 1122 名の参観があり、充実した学校公開を実施することができました。また、午後からの「植えるカムうえ竹」も雨の中でしたが、子どもたちの笑顔と輝く瞳がいっぱいに広がりました。企画・運営に携わった植えるカム部の部長さんを始め、役員の皆様、協力員の皆様には心より感謝申し上げます。

ところで、表題に記したように植竹小が「埼玉・教育ふれあい賞」を受賞しました。この賞は、埼玉県内で、日々の教育活動に熱心に取り組んでいる学校や教育関係団体に贈られるものです。植竹小は、さいたま市教育委員会の推薦を受けて、「様々なふれあいや体験活動」の部で表彰されました。本校のテーマは「人と文化、心のつながりを広げる盆栽教育」です。平成 18 年度から地元地域の文化でもある盆栽の学習を 11 年間継続し、これまで 1771 名の児童が関わってきました。盆栽教室では、清香園の山田香織先生を始め、卒業生や保護者ボランティア、ぼんさい遊々の皆様、北区役所の皆様にお世話になり、地域との連携も深めています。また、盆栽を育てていくことを通して、物を大切に作る心、命あるものを慈しむ心、そして人を思いやる優しい心も一緒に育てていこうとする取り組みが評価されました。

11月21日(土)の表彰式には、児童会長を始めとした6年生各クラスの代表4名が出席し、受賞者を代表してプレゼンテーションを行いました。約10分間、子どもたちの豊かな体験から生まれたリアリティーのある言葉が参会者の心に届いたのでしょう。話し終わったときには大きな拍手が会場いっぱい響きわたりました。以下はプレゼンテーションの最後に代表児童が述べた言葉です。

「ぼくたちは、世界盆栽大会が開かれるという節目の年に6年生になりメディアの取材を受けたり、世界盆栽大会の開会式に出席したりと貴重な体験をすることができました。このことは、これまで植竹小学校の先輩方が、地域に根づいている盆栽を大切に育て、受けついできたからこそだと思います。10月31日には12代目となる5年生の盆栽教室が始まります。ぼくたちも先輩たちがそうしてくれたように5年生に盆栽文化を引きついでいきたいと思います。そして、平成30年3月22日にはMy盆栽とともに植竹小学校を卒業していきたいです。」

プレゼンテーションの指導講評では、「横軸と縦軸の人とのつながり」が素晴らしいとお褒めいただきました。横軸の同じ学年の仲間とのつながり、縦軸の卒業生から下級生までのつながり、そしてたくさんの人に支えられている植竹小学校の教育活動が評価されました。

校風や伝統というものは、その学校の子どもの活動や歴史が積み重ねられて出来上がるものです。これからも、当たり前のことをしっかりと行い、さらに新しいことにも挑戦しながら植竹小学校の校風や伝統に磨きをかけていく所存です。



世界遺産「細川紙」を使った表彰状



プレゼンテーションする代表児童